

令和8年度 地域連携推進会議 議事録				
事業所名	恵和やわらぎ			
開催日時	令和8年10月27日			
開催場所	恵和第三やわらぎ			
出席者	構成員	人数		備考
	事業所職員	3	名	統括所長・管理者・サービス管理責任者
	入居者	1	名	
	入居者ご家族	1	名	
	地域の関係者	4	名	近隣の方4名
	福祉に知見を有する方	0	名	
	経営に知見を有する方	0	名	
	市町村担当職員	0	名	
議題	(1) 主催者挨拶・地域連携推進会議の目的 (2) 出席者紹介 (3) グループホーム・法人の取り組みの説明 (4) 意見交換・質疑応答			
	(1) 主催者挨拶・地域連携推進会議の目的 本会議の目的は、恵和やわらぎを中心とした関係者が集まり、利用者の地域生活をより安全で豊かなものとするために、現状の情報共有、課題の把握、支援体制の確認および協力体制の強化を図ることを目的としている。 また、地域との円滑な関係づくりや、緊急時・災害発生時などの協力体制について検討し、地域で安心して暮らし続けられる環境づくりを進めることを目指している。 上記を参加者へお伝えし、個人情報の取り扱いなど注意いただく点の説明、同意書に署名を頂く。 (2) 出席者紹介 司 会 ：戸村(管理者) 書 記 ：赤坂(サービス管理責任者) 法人より ：鈴野（統括所長） 入居者 ：A様 入居者家族：A様のお母様（以後B様とします） 近隣の方 ：C様 D様 E様 F様 計9名。 (3) グループホーム・法人の取り組みの説明 ホーム内見学と入居者A様の居室案内を実施。 法人（GH）の説明として以下の内容を報告。 ・恵和やわらぎでは男性8ホーム、女性5ホームで計13ホームで利用者数65名で運営している			

事。

・やわらぎは重度の方が多く在籍し、軽度の方が多く在籍している恵和めぐみも法人内にはある事。第三やわらぎ（会議実施場所）で生活されている各利用者の特性を居室や浴室等を実際に見ながら説明。

その中でどのような流れで生活をしているか、個々の対応をどうしているかを説明。

- ・GHの収入についての説明（〇〇という支援をし、国や自治体から収入を得ている等）
- ・入居にあたって、やわらぎが重要視する所などを説明。

（４）意見交換・質疑応答

◇

B様：小遣い（金銭管理）はどうしているのか？

職員：後見人がいれば後見人が管理しているが、事業所、または御家族で管理している方も多くいる。

月の頭に〇円渡す方、週末に□円渡す方、毎日△円もらう方、様々。御本人の要望を基に職員や家族、後見人と相談し使用金額やお渡しするタイミングを決めている。

基本的には小遣いを含め必要なお金は一旦法人で立替え、後日食費等々まとめたものを請求している。

◇

C様：（入居選考の話を基に）グループホームへの入居基準は？

職員：一番重要なのは現在当該ホームで生活されている方と合うかどうかという所。

各ホーム共に特色があり（自立度が比較的高い・介助度が高いなど）どのホームであれば体験が可能かはある程度前情報で絞っている。実際に二週間を予定しているが、最初は一泊からなど対応はできる。過去、まずはティータイムだけ数回参加して、ホームの雰囲気慣れてから泊まりの体験を行った事例もある。

例えば体験をして、合わなかったからといって法人内全てのホームがダメな訳ではない。合わなかった理由は一つの情報として扱いができる。それを基にこちらのホームはどうだろう、と法人側から提案もできる。過去、実際に2回体験をし、ホームに馴染めず断った方も、ここならいけるのではとこちらから声をかけ体験をし、入居に至った方もいる。

◇

D様：日中はどうしているのか？

職員：全利用者日中事業所やデイサービス、就労などで活動や仕事をしている。土日に関しては職員配置をしている。恵和めぐみは配置していなホームもある。他法人に通所している方もいる。

◇

E様：送迎などはどうしているのか？

職員：通所先の事業所やデイサービスの送迎を利用。自力で行ける方も多くいる。その他、送迎のみを請け負ってくれる事業所もあるのでそこを利用している方もいる。恵和やわらぎでは送迎は行っていない。

協議内容・
意見等

◇

F様：外出など余暇はどうしているのか？

職員：横浜市外の方でガイヘルが使用できない方もいるので、状況を見つつやわらぎ職員が対応をしている。その他の方も〇〇職員と□□に行きたいと希望あればできるだけ叶えられるよう対応をしている。

※その他個人情報が多い内容（障害特性に関わる支援方法など）については割愛
以上